

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2026 年 5 月 29 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	エム・エム ブリッジ株式会社
所 在 地	〒733-0036 広島県広島市西区観音新町一丁目 20 番 24 号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 辻 広登
担 当 者 連 絡 先	電 話：082-292-1111
	メール：ushio.shota@mm-bridge.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.mm-bridge.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

・ コンテナターミナルの整備、埋め立てに使用されるハイブリットケーソンの制作 ・ 船着き場や係留施設として活用されるジャケット、浮桟橋の制作 ・ 海底トンネルで使用される沈埋函の製作 ・ 消波機能を発揮する浮防波堤の製作 ・ サンゴ再生事業にも力を入れております。浮桟橋の防食のために採用されている「電気防食技術」によって発生する微弱な電流がサンゴの生育に寄与していることが判明しました。 サンゴの再生・生育を促進させる手法として、稚サンゴが着生しやすい電着基盤と着生したサンゴの成長を促進させる微弱電流を利用したサンゴ生育装置を開発し、10 年以上に渡り、実海域において実証試験やモニタリング調査を実施しております。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	コンプライアンスを遵守する経営	・ 法令違反ゼロ
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	サンゴに関する研究・開発を通じた生物多様性、エコツーリズム、環境教育への貢献	・ 沖縄県石垣島での有性生殖によるサンゴ増殖実験の継続 ・ 長崎県高島をはじめとした全国各地でのサンゴ生育装置の設置によるエコツーリズムや環境教育への活用
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	有給休暇取得の促進	・ 年間 16 日以上/人

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテ ゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3							

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・電解水素水整水器を設置 ・ビル内のトレーニングルームやシャワールームを 休憩中や勤務時間外に利用可能 ・定期的に健康セミナーを開催			3					8									
11	【3 Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・事務所や現場で発生する廃棄物を適切に分別・廃棄 処理実施											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・水光熱使用量を把握し、空調機の適切な温度設定等の 推進によりエネルギー利用の効率化を推進							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・クリーンなエネルギーの一つである波力発電の開発を 行い 温室効果ガス排出の抑制や気候変動対策を実施							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に 取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・浮桟橋の防蝕のために採用されている「電気防蝕」が サンゴの生育に寄与していることを発見し、サンゴの 増殖について研究を推進 ・関連技術となるETVロゴマークを取得 ・関連技術となるNETISIについて登録						6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・2026年2月にISO14001認証取得			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
21	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			3.9									12.4					
22	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している									9								
23	製品・サービス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6						12	13	14	15		
24	製品・サービス	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している				4					9		11	12		14	15		17
26	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる				4							11			14	15		17
27	社会貢献・地域貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している								8	9		11	12	13				

